

# 学校における ケア・福祉・生活指導と授業づくり

2019年9月の第55回学会大会公開シンポジウム「子どものいのちを守り、安心・安全を保障する学校の役割——生活・福祉から学校を問い直す——」では、現代における学校の役割について、主に生活・福祉の観点から検討した。その時には想像もしていなかったことであるが、多くの学校が、子ども・教師・保護者の声を抜きにして3月以降の休校を迫られた。そこで浮き彫りとなったのは、まさに学校が子どもと保護者のいのちの砦の一つであるという事実に加え、子どもが仲間と共に安心して学べる場所を求めているということだった。休校期間を振り返り、「みんなに会えないのは苦つうでした」(小6)等の声が届けられ、改めて学校の役割とは何かが問われている。本研究集会では、授業を通じた子どもと教師の自己変革と学びのダイナミズム、およびそれらと学校におけるケア・福祉的機能の関係について理論的・実践的な提起を行い、ポスト・コロナの学校教育を展望したい。

日時 2021年3月20日(土)13:00~16:30

場所 オンライン開催

司会者 川地 亜弥子 (神戸大学)  
藤江 康彦 (東京大学)  
提案者 浅井 幸子 (東京大学)  
石垣 雅也 (公立小学校教諭)  
久保 恵美 (公立小学校教諭)  
松崎 正治 (同志社女子大学)  
吉永 紀子 (同志社女子大学)

## 申込方法

参加には申し込みが必要です。学会ウェブサイトの申し込み窓口 (<https://www.nasem.jp/>) にて必要情報をご記入ください。(締切3月13日)  
開催前日に、メールでZoomのリンクをお知らせします。  
最新情報は、学会ウェブサイトにもアップしますので、ご確認ください。

※本研究集会は公開で開催いたしますので、会員以外でも関心をお持ちの方に広くお声がけください。なお、本研究集会への参加は無料です。

お問い合わせ先：日本教育方法学会事務局  
〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1  
広島大学大学院人間社会科学研究科教育方法学研究室気付  
hohojimu@riise.hiroshima-u.ac.jp